

3-2 各地区のこれまでの政策

地区名	計画要旨	公共交通路線図	行政が関与する路線概要					
			路線	目的・特徴	料金	運行	利用者数	補助率
豊田地域	○豊田市生活交通確保基本計画 (前頁参照)		①さなげ 足助バス	平成 14 年 9 月に廃止された名鉄三河線レールバス区間の代替バスとして運行。	100~600 円	40 片	150,334 人/年	47%
			②ふれあいバス	平成 12 年 3 月に高岡地区の路線バス廃止に伴い、住民の生活交通を確保するため地域主体でバスを運行。	200 円	24 片 28 片	188,204 人/年	61%
			③松平ともえ号	公共交通空白地域であった松平地区で、高齢者等移動手段確保が困難な人の社会参加を増進するために、平日昼間帯に地域拠点施設及び路線バスに接続する路線	100 円	9 片 14 片	4,897 人/年	91%
			④中心市街地 玄関口バス	中心市街地周辺の公共施設の利便性向上と市民外出機会の増加による中心市街地活性化を目的とした短距離路線	100 円	52 片	119,659 人/年	16%
			⑤福祉バス (石野地区 他 4 地区)	上記のほか公共交通でカバーできない地域で、最寄の主要駅やバス停までの移動手段として、高齢者や障害者を対象とした福祉バス。現在は利用者の制限はなく運行。	100 円	4 片 ~9 片	6,637 人/年	94%

地区名	計画要旨	公共交通路線図	行政が関与する路線概要					
			路線	目的・特徴	料金	運行	利用者数	補助率
藤岡地区	<p>○第 4 次藤岡町総合計画 (2001~2010)</p> <p><u>元気が育つまちづくり</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 安心して暮らせるバリアフリー化、コミュニティを循環する交通手段の検討をした高齢者が元気に生活できるまち <p><u>魅力ある地域づくりとふれあいの生活</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 情報拠点の形成とネットワークづくり <p><u>快適な暮らしと環境を守る暮らし</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 総合交通ネットワークの整備を進める バス、タクシー、鉄道など町内・都市間の交通体系の検討を行う 		<p>藤岡地区内でのみの路線は運行していない。</p> <p>小原地区と結ぶおばらバスが運行されている。(小原地区参照)</p> <p>旭地区と結ぶ旭・藤岡線が運行されている。(旭地区参照)</p>					

地区名	計画要旨	公共交通路線図	行政が関与する路線概要					
			路線	目的・特徴	料金	運行	利用者数	補助率
小原地区	<p>○第3次小原村総合計画（1996～2005）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国県道、村道等の整備促進 ・ 沿道の景観づくり、道路標識・案内板の設置による道路機能の向上 ・ バス・タクシーのサービス向上及び公共施設巡回バスの運行等についての検討 ・ 駐車施設及び公共交通機関と自転車・バイクの接続を目的とした駐輪場の整備 		①おばらバス	豊田市駅から小原村中心部の上仁木までを結んでいた名鉄バス路線の木瀬以北区間廃止（平成11年）に伴い、村営バスとして東鉄バスに運行が委託された。	150～440円	16片	9,719人/年	88%
			②おばらスクールバス	小学校区の統廃合に伴う、児童の長距離通学者に対する補助交通手段の確保。	無料	6片		
			③おばら福祉バス	高齢者に対する福祉施策として、小原村ふくしの里への交通手段を確保。	無料	2～3片		

地区名	計画要旨	公共交通路線図	行政が関与する路線概要					
			路線	目的・特徴	料金	運行	利用者数	補助率
足助地区	<p>○足助シャングリラ計画（第3次足助町総合計画）（1996～2005）</p> <p><u>道路網の整備</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定住人口の増加を図るために住民の通勤、通学、買い物等の利便性を確保することが重要 ・ スクールバスの安全な運行のための町道整備 ・ 「歩行者にもやさしい道づくり」に配慮し、潤いのある道づくりを進める <p><u>住民の足の確保</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全地区を対象とした交通網の体系整備 ・ スクールバス、福祉タクシー、病院送迎バスなど ・ 各々の事業の一体化による住民の便宜の向上 		①あいまーる：巡回	足助地区の中心にある支所、病院等の施設を循環し、地域住民の日常生活を補完する交通手段として運行。	200円	1巡回	12,082人/年	58%
			②あいまーる：13コース	山間地域が大部分を占める地区で交通空白地域の解消施策として運行。	200円	2巡回		
			③あいまーる：スクールバス	小学校区の統廃合に伴う、児童の長距離通学者に対する補助交通手段の確保。	無料（高校生以上200円）	2片		